

## 計画相談支援・障がい児相談支援の充実について

令和5年度『計画相談支援 出張説明会』実施内容について、下記のとおり、報告する。

### 1 実施概要

『計画相談支援 出張 説明会』
<p><b>○背景</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談支援事業所に繋がった方がよい（緊急対応が予測される等）と思われるケースについて、必要性を伝える機会が福祉事務所等に限られる。</li> <li>・計画相談支援の制度を知る機会が、障がい福祉サービス等を申し込む時期に限られる。</li> <li>・児童の時に保護者がセルフプランを作成し、成人に移行時も計画相談の有効性を理解せず、そのまま引き継いでセルフプランになっている人がいる。 …など</li> </ul> <p><b>○概要</b></p> <p>【1】場所 …… 親の会、特別支援学校の就労説明会、福祉園保護者会 …など</p> <p>【2】実施主体…相談支援部会員・区（福祉部 障がい政策課自立支援係、障がいサービス地域生活支援係、福祉事務所）</p> <p>【3】内容………計画相談支援の魅力を伝える。（例：身近な相談相手ができる…など）</p> <p>○その他『計画相談支援 出張説明会』チラシ参照</p>

### 2 実施状況

実施状況	回	日 程	依頼団体等	場 所
実施	1	令和5年3月28日	高島平福祉園（生活介護・就労継続支援B型）家族会	障がい者福祉センター
実施	2	令和5年7月26日	高島特別支援学校 教員	高島特別支援学校
実施	3	令和5年10月19日	板橋区ダウン症児・者 親の会「ほほえみの会」	障がい者福祉センター
予定	4	令和6年3月中旬頃	区立福祉園（生活介護）家族会	調整中

### 3 部会員等参加状況

- ・事業所 相談支援専門員
- ・相談員 知的障がい者相談員、身体障がい者相談員
- ・区職員 障がいサービス課 地域生活支援係、板橋福祉事務所 障がい者支援係

…など

#### 4 実施報告（第2回、第3回）※第1回については、第1回相談支援部会にて報告済み

##### （1）第2回 高島特別支援学校

###### ① 目的

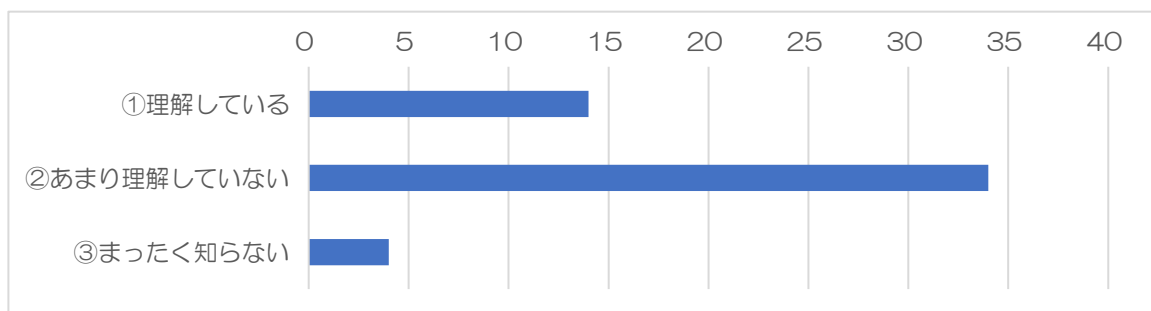
『計画相談支援』の制度や良さなど、教員に理解を深めていただき、生徒・保護者から相談があった際に、適切に案内・対応していただけるようにする。関係者と顔の見える関係を作り、『計画相談支援』に繋がりをやすくする。

###### ② アンケート結果

###### ○回答者数

参加者数	60名
アンケート回収	52名（回収率 85%） 小学部（39名）中学部（12名）不明（1名）

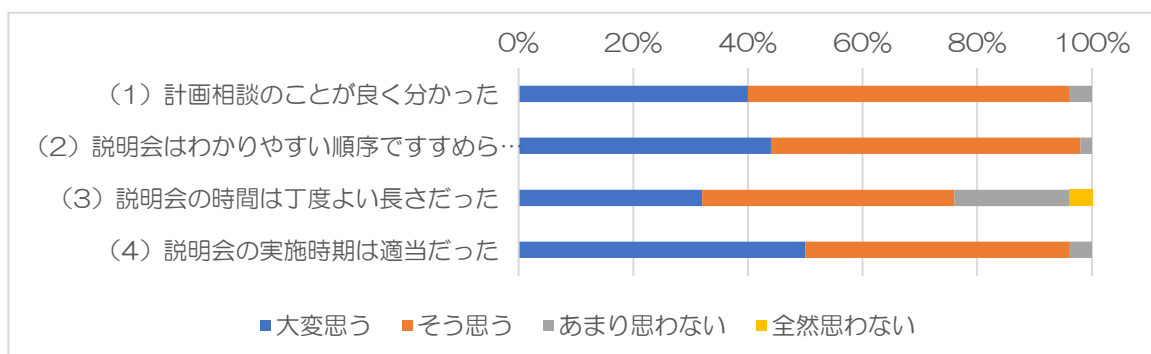
###### ○計画相談支援の理解は？



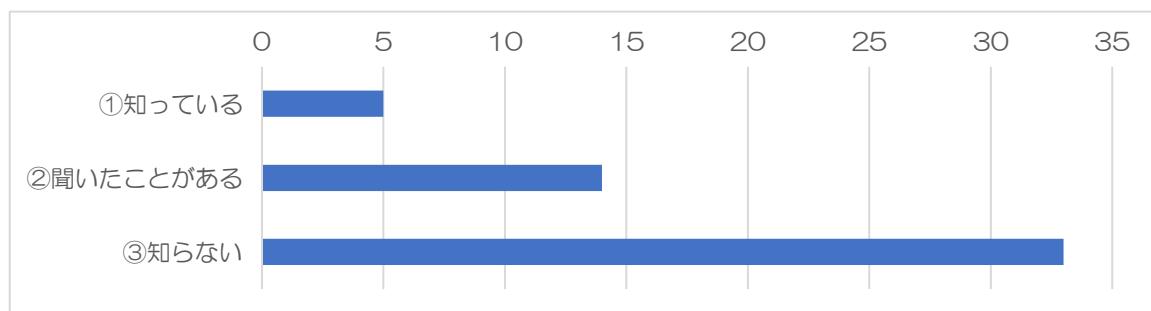
※④その他 事業所を決められない、考えていなかったなど

単位（人）

###### ○出張説明会について



###### ○令和4年度より板橋区で試行的に運用しているサポートファイルは？



単位（人）

### ○参加して良かったと思われる点やご質問を自由にお書きください。

多くの方々が、計画相談について様々な立場の方からの話を聞くことができたこと、理解が深まったこと、生徒・保護者に情報提供したいことが記載されていた。（以下一部抜粋）

- ・計画相談支援についての理解が深まった。セルフプランの方が多く、放課後等デイサービス利用や休日の過ごし方に悩まれている方も多いので、さらに学びを深め、情報提供できるようにしたい。
- ・サポートファイルのことは知らなかったので、将来のためにも活用できるといいと思った。
- ・大変勉強になった。出張説明会は、すばらしい板橋区の取組みだと思う。
- ・実際にサービス等利用計画を作成する流れや作成・活用する上で大事なポイントについてお話いただき、実際に我々が保護者に説明、相談する上で理解が深まった。
- ・担任している生徒で福祉サービスの介入が必要と思われるケースがあるので、適切、的確に動いていけるよう、定期的に今日のような情報に触れたいと思った。
- ・計画相談について詳しく知る機会がなかったので、様々な視点からサービスのメリットや意義について知ることができてよかった。
- ・保護者の視点がとても説得力があり、聞けてよかった。
- ・教員は異動があり、福祉制度は区市町村によって異なる場合がある為、今回「板橋区」の話が聞けて参考になった。
- ・相談支援事業所、保護者、福祉事務所のそれぞれの視点で、1回で話を聞くことができる機会は貴重であった。
- ・教育支援シートというものがあるが、サポートファイルを活用して一つにできないかと思った。学校と区、保護者がもっと一つにシンプルにまとめることができると、活用や取組みやすさがより良いものになると思った。
- ・計画相談に対して、全く知識がなかったため、詳しく知ることができてよかった。
- ・親御さんからの目線で話を伺うことができ、担任としてできることを改めて考えていきたい。
- ・小学部低学年の段階であっても、将来に向け積極的に情報を掴んでいく必要があると知った。
- ・次回はもう少し時間があり、質問ができたらうれしい。

### ③ 終了後の振り返り

- ・計画相談支援の理解を深め、教員より生徒・保護者に計画相談支援を案内していただくきっかけ作りという目的については、アンケート結果から、効果があったと考えられる。
- ・行政、相談支援事業所、障がい者の保護者、福祉事務所と立場が違ふ人の話の評価、特に保護者の話は好評であり、目的は一定程度達成されたと考える。
- ・高島特別支援学校は他区から通学している児童がいるので、他区の情報提供の希望もあった。
- ・前回の反省から時間設定を40分から60分としたが、質疑応答時間を作ることができなかった。アンケート結果からもう少し時間をとってほしかったという意見があり、改めて内容と時間設定の見直しが必要。

## (2) 第3回 板橋区ダウン症児・者 親の会「ほほえみの会」

### ① 目的

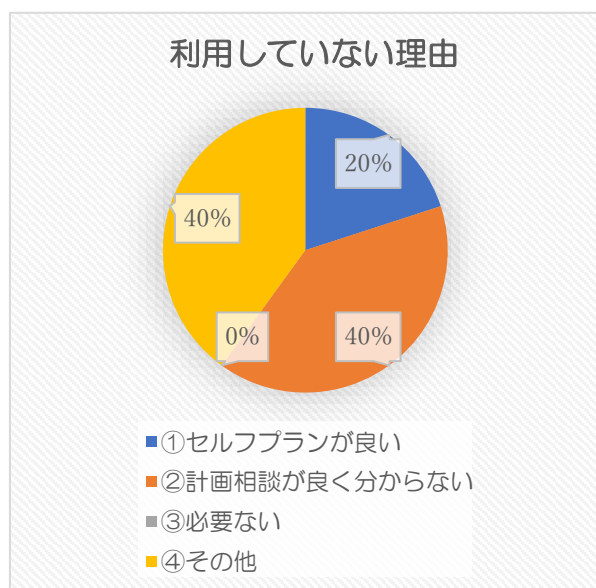
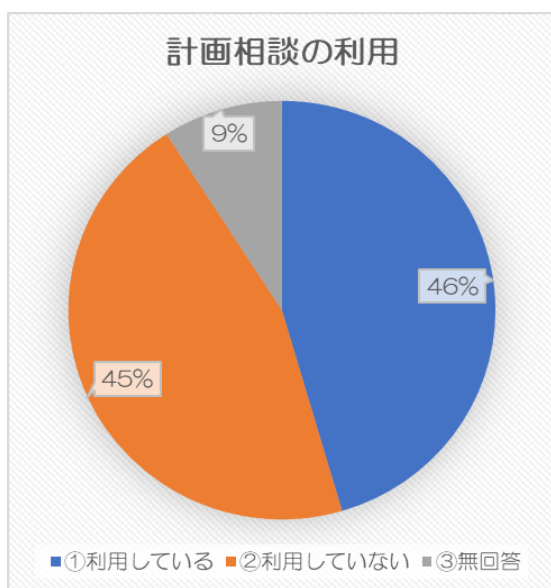
「計画相談支援」の理解・周知を図り、障がい当事者、又は保護者等に「相談支援専門員による計画相談支援」を選択肢として提案する。

### ② アンケート結果

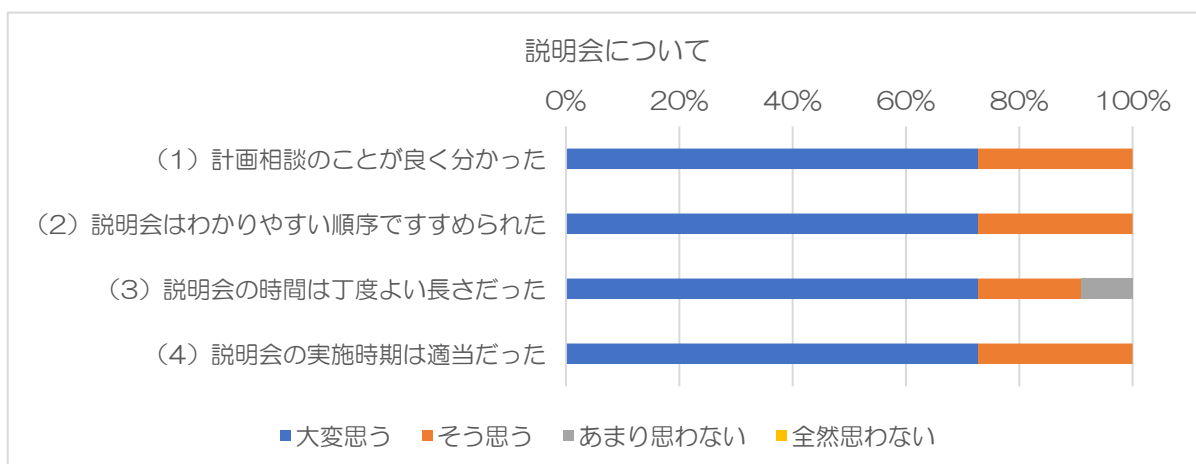
#### ○回答者数

参加者数	14 名
アンケート回収	11 名（回収率 80%）

#### ○計画相談の利用は？



#### ○説明会については？



### ○参加して良かったと思われる点やご質問を自由にお書きください。

多くの方々が、計画相談について様々な立場の方からの話を聞くことができたこと、理解が深まったことが記載されていた。(以下一部抜粋)

- ・今まで知っていたこと、聞いたことがあることが整理できた。
- ・現在、事業所を探しているところなので、とても参考になった。
- ・今まで何も利用しておらず、今まさに相談支援事業所を探しており、何もわからない状態だったため、良い機会となった。計画相談支援の利用に向けて動いていきたい。
- ・移動支援は介助なしの場合、敬遠され易い話を伺っており、事業所を探すことに心がくじけてしまいそうな気がし、どこへ連絡したら良いか一覧から選べずにいる。
- ・セルフプランで困ったこともないが、考えてみようと思った。事例があって、とてもわかり易かった。
- ・立場の違う方々からのお話がとても参考になった。
- ・第三者と会話をすることで、別視点に気づけることは多いので大事なことだと思った。
- ・サポートファイルなど有効利用していきたい。
- ・介護支援専門員のいる事業所一覧が欲しい。

### ○質疑応答の内容（一部抜粋）

(質問) 担当の相談支援専門員が辞めてしまう場合、どうなるか不安。

(回答) 区> 事業所が閉鎖する場合、必ず引き継ぎ先を見つけることを絶対としている。

事業所> 契約書に基づき事前に通告が必要であり、次の相談支援専門員を見つけることになっている。

(質問) ケアマネージャーがいない事業所で介護保険に移行となる場合は？

(回答) 区> 福祉事務所からも案内しており、各地域のおとしより相談センターが相談にのっている。

事業所> 相談支援専門員がケアマネージャーを兼務している場合、スムーズな移行ができる。区内に数箇所そのような事業所がある。

(質問) 担当の相談支援専門員が変更になることはあるか？

(回答) 事業所> 退職等により変更することもあるが、新任職員が入った時に、生活が安定している方の担当をしてもらうことや、相性の問題等でも変更等はある。

### ③終了後の振り返り

- ・計画相談支援の理解を深め、計画相談支援を利用する選択を提案することの目的については、アンケート結果から、効果があったと考えられる。また、行政、相談支援事業所、障がい者の保護者と立場が違ふ人の話とその内容に事例を交えた話は分かりやすく好評であった。
- ・前回の反省から時間設定を 60 分から 90 分とし、質疑応答の時間を作ることができた。机のセッティングも質問や意見が言いやすいように口の字型にしたため、近い距離間で開催することができた。
- ・開催にあたり、対象者に合わせたメンバー編成を行い、行政・事業所（児童・成人・高齢兼務）・障がい当事者で構成し、適当であった。